

更新された情報処理実習システム

TSS (Time Sharing System) 実習方式の導入

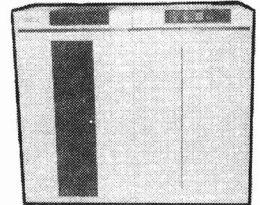
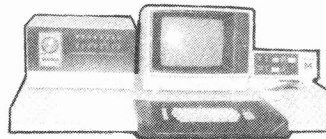
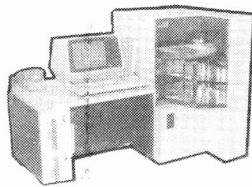
TSS (時分割システム) 方式は、使用者が直接、または、通信回線を介して接続された端末機から、随時、多数が同時に電子計算機を利用する。この方式は、ターン・アラウンド・タイム (処理時間) の短縮化、会話的処理によるプログラミングの能率化、多重処理等、従来のバッチ処理 (一括処理) 方式にはない多くの特色により、豊富で効果的な実習を可能にした。

TSS実習システム図

光学文字読取装置 (OCR)

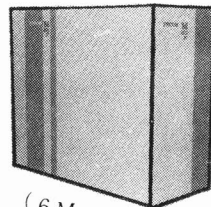
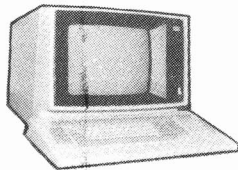
操作卓 (Console)

日本語プリンタ (NLP)



TSS 端末

中央処理装置 (CPU)

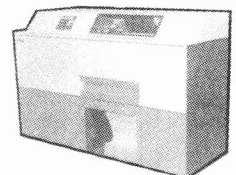


ラインプリンタ (LP)

通信回線

×48台

(6 MB)



補助記 憶装置

(200MB×6)



実習風景